

人・自然・伝統
与謝野で織りなす
新たな未来

YOSANO

広報よさの

No.171

5
2020

今月の表紙 旧加悦町役場庁舎

● 主な記事

- 02 令和2年度 与謝野町の予算
- 06 第3次与謝野町行政改革大綱を策定しました
- 14 連載「織物のまち」
- 17 新生「旧加悦町役場庁舎」が開館しました

≪ 安心と成長を実現する ≫

「子ども子育て環境の充実」 「きめ細かな支援制度の確立」

特定不妊治療交通費支援、産後ケア、子どもの居場所、遊び場づくりなど、よりきめ細かな支援策を盛り込み、妊娠期、出産期の不安を解消し、安心して子どもを産み、育てることができる環境を確立します。



一人ひとりに寄り添い、 社会全体で支援する体制を 整備する

引きこもり等で職に就くことができなかった方の居場所づくり、高卒認定を目指す等就労準備支援、障害者の就労・雇用に向けた仕組みづくり等、社会的に立場の弱い方たち一人一人に寄り添い、きめ細かな支援策を実現します。



未来の子どもたちに 引き継ぐ自然環境を守る

与謝野町の豊かな自然環境を未来の子どもたちに引き継いでいくために、与謝野町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行うとともに、引き続き阿蘇海流域の水質浄化、環境保全啓発に取り組めます。



観光拠点整備により 与謝野ファンを創出する

地域で活用されている「かや山の家」を滞在交流型施設として整備します。また、ジビエ料理や郷土料理を提供するなど、地元資源・食材の活用で与謝野ファンの創出（リピーター増）を目指します。



SDGs の理念に基づいた「第 2 期ひと・しごと・まち創 生総合戦略」を推進する

第2期ひと・しごと・まち創生総合戦略は、SDGs の理念に基づき、「よさの愛」を持った「ひとづくり」を最重要目標とし、「よさの愛」にあふれたキラリと光る人財による「しごとづくり」「まちづくり」を推進します。



産前・産後のケアを充実

令和2年度当初予算の重点事項の一つには、「子ども子育て環境の充実」と「きめ細かな支援制度の確立」を掲げています。

加悦地域認定こども園の施設整備をはじめ、特定不妊治療に係る交通費助成制度の創設やハローベビープロジェクトを新たに実施します。このプロジェクトでは、妊娠中に保健師と面談し、ハローベビー計画書を作成するとともに、離乳食につながる記念品の進呈等を行います。

さらに、助産師との相談や子どもの沐浴あるいは保育を行い、育児から開放される機会をつくり、相談や親同士の交流、ゆっくり入浴できる場を設定する産婦デイスービス事業等を盛り込んだ産後リフレッシュ事業などを行い、産後の孤立しやすい環境や、育児についての孤独感の改善も図ります。

このように、産前から産後・子育て期まで切れ目なくきめ細かな支援をハード・ソフト



令和2年度

与謝野町の予算

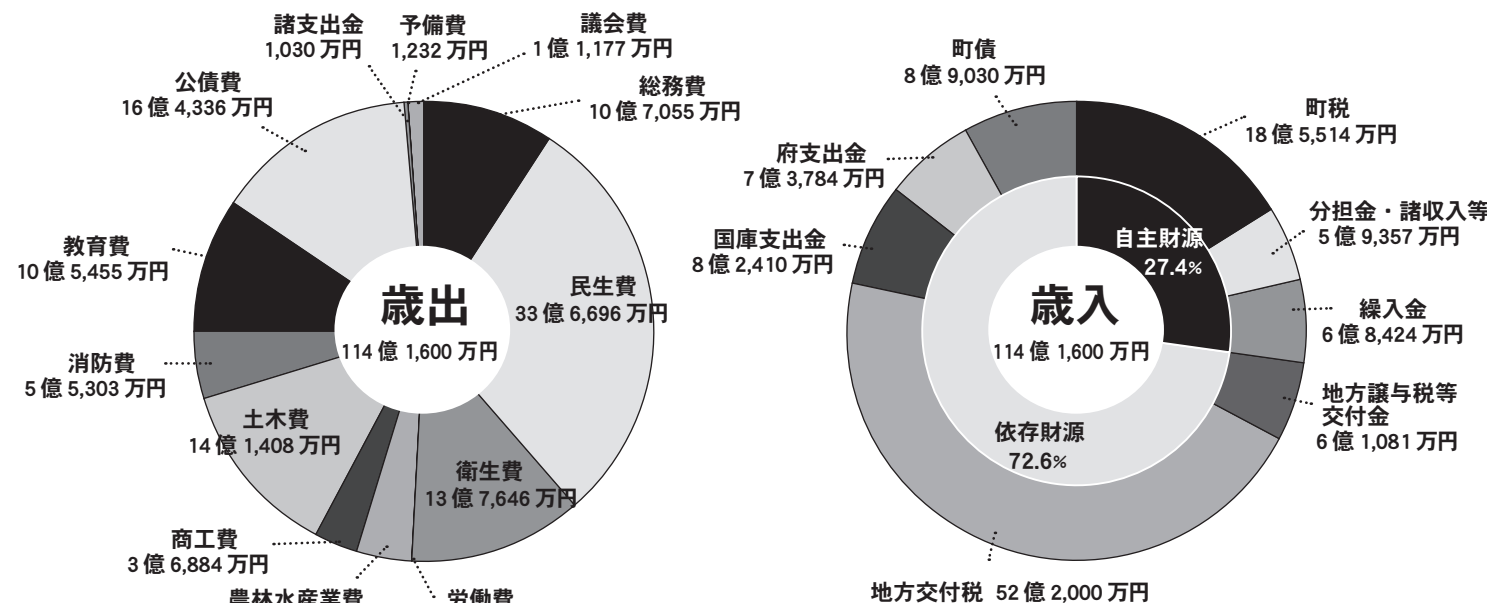
一般会計を中心に令和2年度の当初予算の概要をお知らせします

令和2年度の一般会計予算額は、114億1,600万円です。令和元年度当初予算額と比較すると、13・4%減となりました。新ごみ処理施設の建設に伴う宮津与謝環境組合負担金の減額が大きな要因となっています。

厳しい財政状況

普通交付税の段階的縮減や近年頻繁に発生する台風・豪雨災害等に伴う災害復旧対応等により、平成29年度、平成30年度と2年連続でこれまで積み立てていた貯金「財政調整基金」を取り崩すという厳しい財政状況です。このような中ではありますが、経常経費や起債借金の発行を極力抑えながら、「安心と成長を実現する」という方針を掲げ、重点的に5つの事項を推進する予算としています。

一般会計予算総額 114 億 1,600 万円



特別会計・水道事業会計当初予算額

会 計	令和2年度当初	令和元年度当初	増減率 (%)
宅地造成事業特別会計	7,547 万円	7,931 万円	△ 4.8
下水道特別会計	16 億 8,000 万円	16 億 8,550 万円	△ 0.3
農業集落排水特別会計	3,650 万円	3,720 万円	△ 1.9
介護保険特別会計	27 億 4,400 万円	27 億 2,910 万円	0.5
土地取得特別会計	39 万円	43 万円	△ 9.3
国民健康保険特別会計	23 億 2,700 万円	24 億 9,600 万円	△ 6.8
後期高齢者医療特別会計	3 億 3,920 万円	2 億 8,770 万円	17.9
財産区特別会計	9,254 万円	9,470 万円	△ 2.3
水道事業会計	11 億 9,961 万円	12 億 1,320 万円	△ 1.1
特別会計・水道事業会計合計	84 億 9,471 万円	86 億 2,314 万円	△ 1.5

防災・減災対策事業

農林課・建設課

溪流内において、今後の豪雨による山腹崩壊の拡大や、それに伴う土砂流出を防止するために、治山事業を実施します。また、三河内地区の奥山川流域解析を実施し、今後の浸水対策への方向性を定めた浸水対策基本計画を改定します。



地域学校協働活動推進事業

学校教育課

地域ボランティアグループと学校を結ぶコーディネーターとして地域学校協働活動推進員を設置し、地域と学校の協働の取り組みを推進します。また、コミュニティスクールの導入についての調査研究も併せて行います。



織物振興事業

商工振興課

織機等の維持補修などの経費負担に対する助成を行うことにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発の機運を高めるとともに、新たに小規模事業者に対して支援を行い、生産力低下や後継者不足への対応を図ります。



産後リフレッシュ事業

子育て応援課

産婦デイスサービスをリフレかやの里等で実施します。助産師との相談や子どもの沐浴あるいは保育を行い、育児から開放される機会をつくり、相談や親同士の交流、ゆっくり食事や入浴ができる場を設定することで産後の孤立しやすい環境の改善を図ります。



ハローベビープロジェクト

子育て応援課

妊婦とその配偶者（またはパートナー）と面談を行い、産前、産後の役割分担を明確にし、親子ともに安心して過ごせる「ハローベビー計画書」を作成するなど、育児についての孤独感の軽減を図るとともに、産前産後の切れ目のない支援を実施します。



特定不妊治療交通費助成

子育て応援課

妊娠を望む夫婦が積極的な不妊治療に臨めるよう、高額な自己負担が必要となる特定不妊治療の申請者について、その治療にかかる交通費の一部を助成することにより、経済的・精神的負担の軽減を図る一助とします。



詳細はコチラから



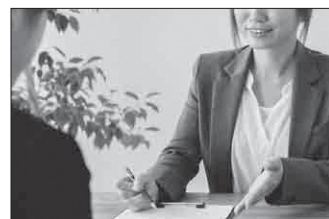
令和2年度当初予算の詳細は、町ホームページからご確認いただけます。



くらしとしごとの支援事業

福祉課

ひきこもり等が原因で長く職に就くことができなかった方の居場所づくりや、19歳以上で高卒資格のない方を対象に、高校卒業認定を目指した学習等支援を実施します。また障害者の継続した就労、事業者の障害者雇用についても支援します。



移住・定住事業

観光交流課

本町に移住し、定住する目的で家屋の新築または新築建売住宅・中古住宅を購入した子育て世帯に対して、移住・定住に要する費用の一部を補助します。補助額は基本額に加え、加算メニューにより補助金額は最大280万円とします。



協働のまちづくり調査事業

企画財政課

地域運営組織（単独自治区・複数自治区）が、地域の多様な個人・団体、地域支援員とチームとなり、町職員（場合によっては京都府職員も参画）の伴走支援を受けながら、地域課題の解決に向けての調査を実施します。



キッズステーション事業

子育て応援課

地域のすべての小学生を対象とした居場所づくり、遊び場づくり、地域住民との触れ合いの場作りとなる拠点（キッズステーション）を設置・運営する自治区等に対し支援を行い、子どもたちが安心して遊べる・学べる・交流できる居場所づくりを行います。



認定こども園整備事業

子育て応援課

当初予算には「桑飼小学校解体工事設計業務委託料」のみ計上しています。なお、整備予定地で遺跡発掘調査を実施するため、桑飼小学校解体工事費、監理委託料、新園舎整備工事費は債務負担行為※に計上しています。



与謝野ファンを創出

四つ目には「観光拠点整備事業」を掲げ、昭和53年に建築されて以来40年余りが経過した「かや山の家」を滞在型交流施設として改修し、一部をジビエ加工施設として、大江山の恵みを郷土料理として提供できるよう整備します。また、昨年度整備したクアハウス岩滝や旧加悦町役場庁舎も活用し、観光客受け入れのための気運を醸成します。

持続可能な仕組みをつくる

五つ目には「SDGsの理念に基づいた『第2期ひと・しごと・まち創生総合戦略』を推進する」を掲げ、地方創生の第2ステージへの取り組みとして、特色ある農業推進事業やお試し住宅体験事業を展開します。

また、当初予算のほか、新型コロナウイルス感染症対策や、国で調整している経済対策、子どもたち、女性、高齢者などに寄り添った対策も随時補正予算により対応していきたいと考えています。

の両面から推進していくこととしていきます。

きめ細かな支援を推進

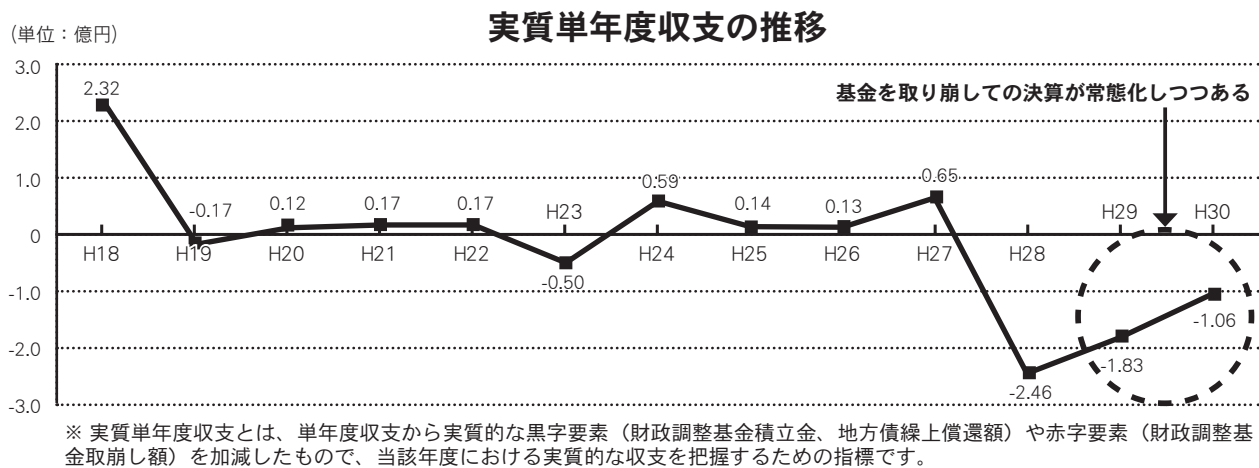
二つ目には「一人一人に寄り添い、社会全体で支援する体制づくり」を掲げ、引き続き生活困窮家庭と養育困難家庭の学習支援事業を実施します。

また、引きこもりや不登校が原因で就職が困難だった方を支援するくらしとしごとの支援事業や障害者の生きがいの創出に向けて、就労・雇用に向けての仕組みづくりを行う就労支援事業を着実に進めるなど、住民の皆さんに寄り添った事業を推進します。

自然環境に配慮したまちへ

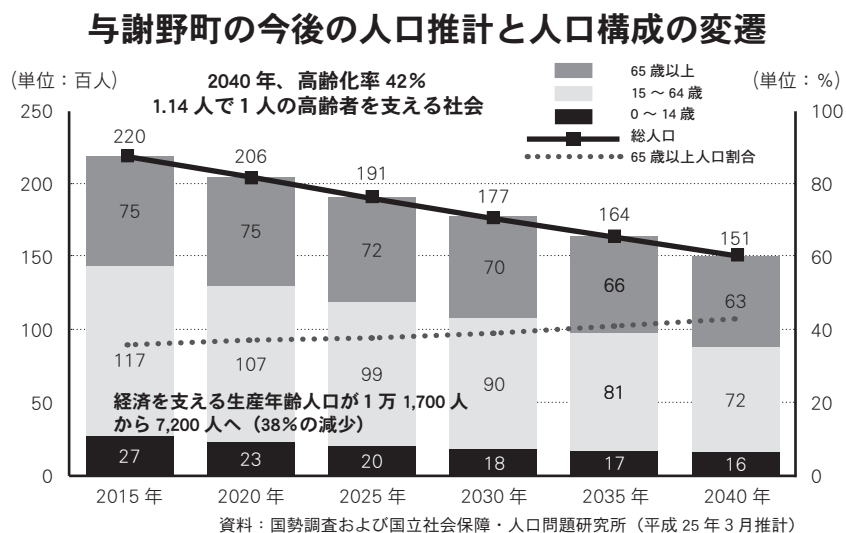
三つ目には「未来の子どもたちに引き継ぐ自然環境を守る」を掲げ、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指し、「与謝野町地球温暖化対策実行計画」を改定します。二酸化炭素の排出を抑制するとともに、引き続き阿蘇海の環境改善に取り組みます。

※債務負担行為とは、事業が単年度で終了せず、後年度においても負担しなければならない場合、あらかじめ後年度の債務を約束するよう予算で決めておくことです。



今後、与謝野町を取り巻く環境は大きな変化が予想され、2040年には人口が約1万5000人規模になる見込みです。2015年から42%の減少であり、経済を支える生産年齢人口も38%減少することになります。町内の経済活動が鈍くなることに加えて地域のさまざまな役割を担う人材（自治会の役員、消防団員、産業の後継者等）の確保もさらに困難になることで、これまでの地域での活動の維持が困難になり、まち全体の活力が大きく減退することになります。

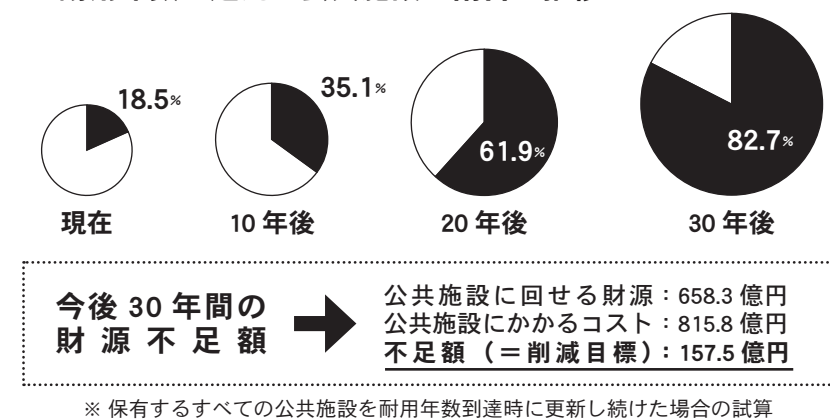
財政面では、普通交付税の合併特例措置が終了し、一つのまちとして算定



与謝野町公共施設の耐用年数到達割合推移と公共施設の維持・更新にかかる財源不足

※ 与謝野町公共施設等総合管理計画（基本計画）から（H28年度作成）

■ 耐用年数を迎える公共施設の割合の推移



されること、また、人口減少による税収の減少も見込まれることから、歳入額が大きく減少する見込みです。歳出の抑制が歳入の減少に追いつかなければ、その不足分を基金で補てんすることになるため、合併の特例措置による恩恵を子や孫たちの世代に引き継ぐことができず、現役世代がすべて使ってしまうことになり、将来に負担だけが残ることになります。

公共施設についても、今後も使用し続けるならば、老朽化に対応して施設の更新（建て替え）もしなければなりません。しかし、全ての施設でそれを行おうとすると、今後30年間で約157.5億円（1年平均5.25億円）の財源不足が生じる見込みであり、今後は公共施設への投資について選択と集中が必要になります。

第3次与謝野町行政改革大綱

— 持続し発展する与謝野町の基礎を作る — を策定しました

与謝野町では、合併市町村に対する普通交付税の特例措置期間終了に対応するため、そして平成29年度に策定した第2次与謝野町総合計画の実現のため、「持続可能な行財政基盤の確立」と、行政を含めた「多様な主体が協働するまちづくりの推進」を目指す『第3次与謝野町行政改革大綱』（期間：令和2年度～5年度）を策定しましたので、その概要をお知らせします。

貯金を取り崩す赤字財政

与謝野町では、合併以降の体制整備や生活環境向上のため、ケーブルテレビ・光ファイバー網の全町域への拡張整備や下水道の整備、認定子ども園の建設等を積極的にを行い、一つのまちとしての環境整備を積極的に進めてきました。合併団体の特例措置として、普通交付税が合併前の水準となるように保障されていたため、町の貯金である基金を積み立てながら積極的な投資を実施することができていましたが、きめ細かなサービスの充実や国が推進する事業の実施などにより歳出規模も増え続けています。その一方で、与謝野町が実施する事務事業の数や公共施設の数、職員の数等が一つのまちとして適正なのか検証が十分になされてきませんでした。

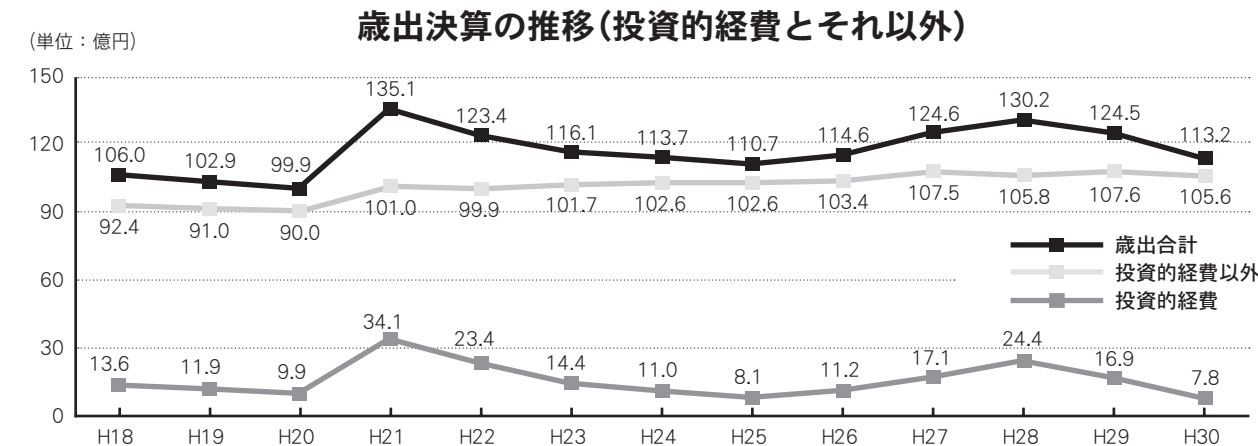
合併から10年が経過した平成28年度には、合併団体の特例措置により保障されていた普通交付税が段階的に縮減され、合併から15年目を迎える令和2年度を最後に特例措置期間が終了します。しかし、与謝野町の一般会計における歳入額の40%以上を占める普通交付税が一つのまちとしての規模へと縮小していく一方で歳出規模の抑制はできておらず、積

普通交付税とは

地方公共団体の税収等の財源の偏在を調整し全国で一定水準の住民サービスを提供できるように、主に国税（所得税や酒税、消費税等）を原資として、客観的な基準での算定により各地方公共団体に財源を配分する地方財政制度です。

与謝野町では歳入全体の40%程度を占める大きな財源となっています。合併団体の特例措置で、合併後10年間は合併前の旧団体ごとに算定した合計額が保障され、その後5年間で段階的に新団体算定の額に移行していきます。その特例措置による差額は約3.8億円（令和元年度算定）あります。

極的に進めてきた事業の負担が町の借金の返済にあたる「公債費」という形で顕在化しています。そのため平成29年度、平成30年度においては、財政調整基金を取り崩しての決算となり、実質的な赤字財政へと転じてます。



第3次与謝野町行政改革（案）を最終答申

「第3次与謝野町行政改革大綱」は、令和元年7月に町長からの意見諮問を受けた与謝野町行政改革推進委員会（伊藤伸会長）が5回の委員会にて慎重に審議し、その結果を3月27日に町長に答申しました。

— 与謝野町行政改革推進委員会の意見（主旨要約） —

- ① 大綱の着実な実行のために、その目指す姿や手段について、まずは行政内部での意識共有が重要であること。
- ② 大綱を進める上で、令和元年度から取り組む『事務事業評価』が重要な位置づけとされていることから、より実効性の高いものになるように改善を進めていかなければならないこと。
- ③ 行財政改革は行政だけで完結するものでなく住民との共有が不可欠なので、多くの住民が認知するように町長を中心に情報発信を積極的に行うこと。



にしかわ
西川会長代理から町長へ答申書が手渡されました

第3次与謝野町行政改革大綱 “持続し発展する与謝野町の基礎を作る”

基本方針

持続可能な行財政基盤の確立

「一つのまち」として適正な規模を検証した上で、将来に備えた明確な目標と方針を定めて、与謝野町の将来に対して本当に必要なこと、優先すべきことは何であるかを評価・検証し、そこに資源を投入していくといった「行財政経営」（従来の行財政運営からの転換）に取り組むことで『持続可能な行財政基盤の確立』を目指します。

多様な主体が協働したまちづくりの推進

減少する行政資源の活用を行政だけで考えるのではなく、正確な情報をみんなで共有し住民協働・住民参画で考える仕組みを作ることや、住民の主体的な活動の促進に取り組む等、『多様な主体が協働したまちづくりの推進』（※行政も含む多様な主体）により町政をさらに活性化させます。

基本方針2 “多様な主体が協働したまちづくりの推進”

目指す姿	目標	具体的取り組み
住民主体の地域コミュニティ形成と地域づくり活動の促進	地区公民館活動実施20館の維持と、主体的に地区のあり方を定めて課題解決に取り組んでいる地区数を3地区にする。	住民が主体的に地域の将来を検討し課題の解決に取り組むことができる仕組みの構築と運営支援、地区公民館の維持管理支援、地域間で取り組みや課題を共有し学び合う場の構築
住民参画による町政の活性化	町的意思決定に住民がさまざまな形で参画する機会を増やす。	多くの住民の意見・意思がまちづくりに反映できる手法の導入 町政の「見える化」の推進 住民意識調査の実施
多様な主体が協働して行うまちづくり・地域づくり	多様な主体が協働した取り組み、地域課題に基づく議論の機会を増やす。	地域課題に基づいた対話の場の構築、町内の小中学校で町政に関する「出前講座」を実施、協働のまちづくりを推進するための役割組織の機能強化

詳細はコチラから／



第3次与謝野町行政改革大綱および実施計画は、町ホームページからご確認いただけます。

※債務償還可能年数とは、実質債務に対する償還能力（財政余力）を示す新たな財政指標で、その年数が短いほど財政の持続可能性が認められます。10年を超えると危機的状況にあるとされており、与謝野町の平成30年度決算で試算すると8.9年となります。目標の7.5年は財政の健全化を目指す中間的な目標値（本大綱期間内の目標値）として設定するものです。

基本方針1 “持続可能な行財政基盤の確立”

目指す姿	目標	具体的取り組み
財政の健全化	歳出規模を減らし歳入を確保することで財政収支を実質的黑字化にし、債務償還可能年数※を7.5年以下にする。	持続可能な財政計画の策定、予算編成改革、経常経費削減、下水道特別会計繰出金の削減、公債費の抑制、歳入の確保（ふるさと納税、利用料金等の適正化）
選択と集中による行政資源の効率的・効果的な活用	平成30年度よりも事務事業の総数を減らし、各事務事業の成果・効果も向上させる。	事務事業評価の実施 政策形成過程のルール化
職員数の適正化と改革人材の育成	令和元年度よりも総職員数を減らし、職員の意識改革も進める。	職員数適正化計画 人材育成基本方針の見直し
公共施設数の減少	「与謝野町公共施設等総合管理計画」の方針に基づき、令和元年度よりも公共施設数を13減らし、将来負担を低減する。	公共施設等総合管理計画の方針の実行

健やか広場 ▶ 母子保健事業のお知らせ

子育て応援課 ☎ 43-9024

夫婦で協力して赤ちゃんを迎える場として両親面談を実施します。

対象者 令和2年4月1日以降に出産を迎えるお母さんとお父さん

時期 妊娠中期～後期（妊娠中に実施できなかった場合は、出産後の訪問でお父さんにも同席していただきます）

▼各ご家庭に保健師から日程調整の電話をします。お仕事などで難しいご家庭もあると思いますが、ご都合をつけていただきますようお願いいたします。

▼両親面談者には、妊娠中や子育てに使えるグッズ、お子様の誕生後に記念品、産後リフレッシュ事業で利用できる「リフレッシュ券」をプレゼントいたします。



ハローベビープロジェクト

令和2年度から母子保健事業（乳幼児健診等）は、子育て応援課（☎43・9024）が実施します。今回は、令和2年度から新しく始める事業を紹介いたします。

産後リフレッシュ事業

産後のお母さんと赤ちゃんのためのデイサービスです。リフレかやの里で、助産師や保育士、保健師が母乳相談、育児相談を行うほか、入浴、沐浴、お母さん同士で昼食や交流を行い、産後の心身の疲労をリフレッシュします。利用料の一部を町が助成します。

対象者 令和2年4月1日以降に出産された生後6カ月までの母子

場所 リフレかやの里

料金 1000円/回

定員 4人/日

助成回数 3回まで

申し込み 利用希望日の2週間前までに子育て応援課に電話予約をお願いします。利用当日、リフレッシュ券を持参してください。

※リフレッシュ券は、ハローベビープロジェクトで両親面談を実施した方に配布します

お気軽にご相談ください

子育て応援課は加悦庁舎2階にあります。妊娠期から子育て期に渡るさまざまなニーズに対して支援できるよう「子育て世代包括支援センター」を設置しています。お悩み事や相談したいことがありましたら、お気軽にお越しください。



子育て応援課にはお子様が遊べるスペースもあります

不妊とは？ 妊娠を望む健康な男女が避妊をしないで性交をしているにもかかわらず、一定期間妊娠しないものをいいます。この「一定期間」について「1年というのが一般的である」と定義されています。〔(公益)日本産婦人科学会ホームページから引用〕

特定不妊治療 交通費助成金事業

特定不妊治療を受診できる医療機関が近隣地域にないため、遠方まで通院しなくてはなりません。高額な受診料負担に加え、通院に要する交通費も多額になります。ご夫婦の経済的・精神的負担を軽減するため、通院に要する交通費の一部を助成します。

▼今年度の特定不妊治療助成金を申請された方から対象となります

▼1度の特定不妊治療助成金申請につき、通院1回交通費5000円を5回分まで助成します。

上限額 2万5000円
(1回5000円×5回分)

▼年間5万円/人

※一般不妊治療費等助成金制度もあります。詳しくは子育て応援課へお問い合わせください



がんばってます！消防団

編集 ● 消防団本部

植田前団長、29年間お疲れ様でした。

3月31日付けで退任された植田泰史前団長は、平成3年4月に旧岩滝町消防団へ入団され、29年間消防団活動に尽力されました。さらに、平成28年4月～令和2年3月までの4年間、団長を務められました。

また、平成6年には、植田前団長率いる旧岩滝町消防団が京都府消防操法大会で優勝し、全国消防操法大会へ出場。見事、9位に入賞されました。

平成30年には、より良い消防団活動を行うことを目的として、分団統合、火災出動区分の変更といった与野町消防団の再編に、団長として先導し消防団をまとめられました。

このご苦労に対し、全消防団員から感謝申し上げます。



■ 新入団員紹介 ～新たに27人が入団しました～

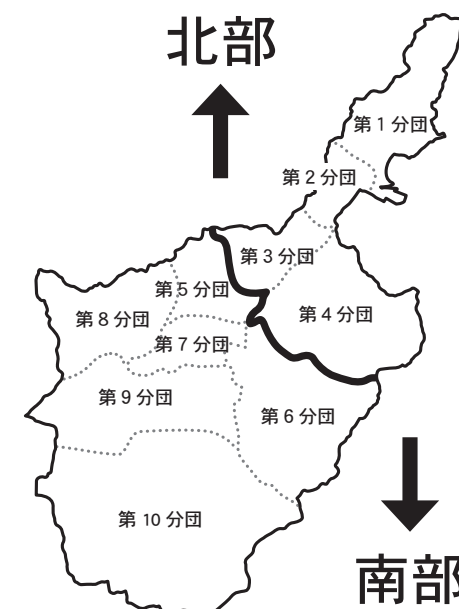
分団	氏名	分団	氏名	分団	氏名
第3分団	楠田 理友	第5分団	須川 高広	第9分団	奥田 陽介
	小西 俊平	第6分団	近藤 克弥		坂中 貴大
	大平 和樹		藤田 祐輔		前野 周大
	荻野 大輝		井崎 亮平	第10分団	河島 祐輔
第5分団	中本 拓磨	第7分団	大槻 幸人		小田 新介
	福井 亜斗夢		吉田 舜平		田中 克樹
	川戸 大輔		廣居 泰至		井上 連音
	加畑 慎一郎	第8分団	山崎 康弘	ひまわりふれ愛隊	ひろの 廣野
	黒川 勇		浪江 恵太		つぼくら 七映
					坪倉 ゆり

■ 火災発生時における出動区分

火災発生時は北部と南部の2つの地域に分け、その地域に属するすべての分団と、隣接する分団が出動します。

火災発生場所	出動分団
岩滝地域	北部地域の全分団
山田地区	北部地域の全分団および第5分団
石川地区	北部地域の全分団および第5・6分団
幾地・四辻地区	南部地域の全分団および第3・4分団
温江・明石・香河地区	南部地域の全分団および第4分団
三河内・岩屋・算所・加悦奥・加悦・後野・与謝・滝・金屋地区	南部地域の全分団

※第1～4分団が「北部地域」、第5～10分団が「南部地域」です



皆さんこんにちは。マテウスです。寒く厳しい与謝野町の冬もようやく終わりを迎え、春らしい気候になってきました。4月に行われた各学校の入学式に合わせて咲いたかのような桜は、とても美しく印象的でしたね。

私はアメリカのユタ州の出身です。ユタ州にはザイオン国立公園やモニュメント・バレーといった自然豊かな観光名所が数多くあります。しかし、桜や梅といった美しい花を咲かす木々はほとんどありません。私は美しいと評判の日本の桜を見ることをとても楽しみにしており、今年は満開の桜を見ることができ、とても感動しました。

新型コロナウイルスの影響さえなければ、美しい桜を眺めながら友人とともに、人生で初めての花見をするというすばらしい経験ができたのにと残念に思うばかりです。

不要不急の外出は避け、自宅にすることが多い中、私は日本に来てから約8ヵ月間の間で最も印象に残っている、妻との六甲山でのハイキングのことを思い出しました。

ハイキング当日は快晴であり、すばらしいハイキング日和でした。透き通った青空の下、緑豊かな自然の中を歩く時間は、このうえなく素晴らしいものでした。しかし、途中で道を間違えてしまい、3時間ほどで頂上に着ける予定が5時間ほどかかってし

まいしました。道も険しく、とても困難な道のりでしたが、頂上に着いた時には突如として疲労感はなく、その疲労感は大きな達成感に変わりました。

私たちの人生には一体どれほど多くの困難が待ち構えているのでしょうか。しかし、困難であっても必ず乗り越えられるものであり、困難であればあるほど乗り越えた時の達成感は大きくなると私は思います。ハイキングは困難な道のりであればあるほど山頂に到達した際の達成感が大きく、これはまさしく私たちの人生の縮図であるといえるのではないのでしょうか。日々の慌ただしい生活の中で、ハイキングの時間をとることは難しいと思いますが、皆さんもぜひハイキングをして困難を乗り越えた際の達成感を得られてみてはいかがでしょうか。

現在は新型コロナウイルスの影響で不要不急の外出をすることはできませんが、この影響が収まればまたハイキングを楽しみたいと思います。皆さん、与謝野町付近でお気に入りのハイキングスポットはありますか？皆さんのお気に入りスポットをぜひ教えてください！

与謝野町観光協会HPでは、インバウンド（訪日観光客）向けに、ALTが外国人目線で与謝野町の魅力を発信する「ALT Eyes」を随時更新中。旬の話題が盛りだくさんの観光協会HPをぜひご覧ください！



観光協会HP

「公民館訪問」の掲載終了について ～長年に渡りご愛読いただきありがとうございました～

「広報よさの」の奇数月発行号に定期掲載しておりました「公民館訪問」ですが、令和2年3月発行号掲載分を持ちまして終了させていただきます。

隔月でさまざまな地区公民館の活動を紹介し、与謝野町の公民館活動の定着に大きな役割を果たしてきましたが、掲載開始から10年(60回)を数え、一定周知もされたことから、今後は年1回発行する「まなびだより」において活動の様子などをお知らせいたします。

長年に渡りご愛読いただき、ありがとうございました。



令和元年度に貸し出しが多かった本を発表します！

図書館では、昨年4月1日から今年3月31日までに13万87冊（昨年度13万3,622冊）の本を貸し出しました。この1年間で、たくさん借りられた本BEST5を紹介します。

人気の本は貸し出し中の場合もありますが、“予約”をすれば、図書が返却され次第取り置きできます。また、ホームページからも貸し出し状況の確認や予約（事前登録が必要です）ができます。

年間貸出冊数BEST5

一般書

- 1位『希望の糸』東野圭吾／講談社
 - 2位『そして、バトンは渡された』辻村深月／文藝春秋
 - 3位『沈黙のパレード』東野圭吾／文藝春秋
 - 4位『ノースライト』横山秀夫／新潮社
 - 5位『検事の信義』柚月裕子／KADOKAWA
- 番外編『一切なりゆき』樹木希林／文藝春秋

児童書

- 1位『おしりたんてい みはらしそうのかいじけん』トロール／ポプラ社
- 2位『おしりたんてい いせきからのSOS』トロール／ポプラ社
- 〃『おしりたんてい かいとうとねらわれたはなよめ』トロール／ポプラ社
- 4位『おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん』トロール／ポプラ社
- 〃『おしりたんてい やみよにきえるきょじん』トロール／ポプラ社

絵本

- 1位『それしかないわけないでしょう』ヨシタケシンスケ／白泉社
- 2位『みえるとかみえないとか』ヨシタケシンスケ／アリス館
- 3位『どんぐりむらのいちねんかん』なかやみわ／学研プラス
- 4位『999 ひきのきょうだいのほしをさがしに』村上康成・木村研／ひさかたチャイルド
- 〃『どんぐりむらのぱんやさん』なかやみわ／学研教育出版

雑誌

- 1位『オレンジページ』オレンジページ
- 2位『クロワッサン』マガジンハウス
- 3位『NHKきょうの料理』日本放送出版協会
- 4位『婦人公論』中央公論新社
- 5位『こどものとも』福音館書店

※一般書・児童書については、一番利用がある日本の小説にジャンルを絞ってBEST5を紹介しています

今月の 新着図書

一般書 ●『おとしどころの見つけ方』松浦正浩／クロスメディア・パブリッシング ●『空白の日本史』本郷和人／扶桑社 ●『野村メモ』野村克也／日本実業出版社 ●『おうち筋トレの本』日経ヘルス／日経BP ●『おかあさんライフ』たかぎなおこ／KADOKAWA ●『東京、はじまる』門井慶喜／文藝春秋 ●『帰りたいくなる家』山崎美津江／婦人友友社 ●『甘夏とオリオン』増山実／KADOKAWA ●『秘密のストックレシビ』白崎裕子／マガジンハウス ●『禅式おそうじ術』吉村昇洋／NHK出版 ●『発注いただきました！』朝井リョウ／集英社

児童書 ●『ぱかぱかももんちゃん』とよたかずひこ／童心社 ●『ニュース年鑑2020』池上彰／ポプラ社 ●『爆笑!!小学生あるある』さそり山かずき／ポプラ社 ●『斎藤道三（コミック版日本の歴史）』加来耕三／ポプラ社 ●『るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ！47都道府県』伊藤賀／JTBパブリッシング ●『はじめてのメイク&ネイル』めっちゃカワ!!ビューティー向上委員会／新星出版社 ●『ちょきんぱこのたびやすみ』村上しいこ／PHP研究所 ●『ごんべえだぬき』川端誠／KADOKAWA ●『すみっコぐらしひみつてん』サンエックス株式会社／小学館

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087

●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）



平日にお仕事や学校で役場に来ることが難しい…

マイナンバーカード 休日窓口を開設します！

～ 夜間延長窓口での受け取りも可能に ～

マイナンバーカードを受け取りたい方・申請されたい方などを対象に、休日窓口を開設します。また、夜間延長窓口の際にカードの受け取りが可能になります。

休日窓口

※事前予約制

6 / 14 日

予約期限
6月11日（木）

7 / 12 日

予約期限
7月9日（木）

8 / 2 日

予約期限
7月30日（木）

時間
午前9時～正午

場所
野田川庁舎

9月以降の実施日はあらためてお知らせします

■必要な持ち物

マイナンバーカードを受け取る方

マイナンバーカードをすでに申請された方で、役場から受け取りの案内が届いた方が対象です。

- ① 交付通知書（町から届いたはがき）
- ② マイナンバー通知カード（紙製）
- ③ 本人確認書類※
- ④ 印鑑
- ⑤ 住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）

▼受け取り・申請には約20分／人かかります
▼先着順となりますのでご了承ください

※本人確認書類とは、次のAまたはBです。

A：（顔写真付）運転免許証、パスポート、身体障害者手帳、療育手帳、在留カード等

B：上記A以外の「氏名・生年月日」または「氏名・住所」が記載された書類2点（健康保険証、介護保険証、年金手帳、学生証等）

マイナンバーカードを申請する方

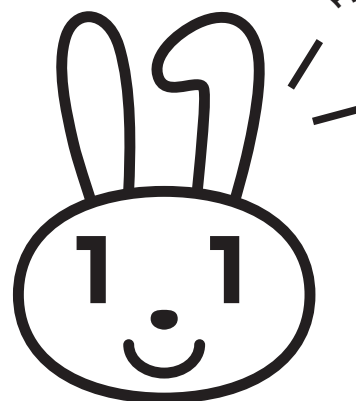
申請者本人が住民環境課窓口でマイナンバーカードの取得申請を行うことで、後日（約1ヵ月後）、本人限定受取郵便でマイナンバーカードを受け取ることができます。

- ① マイナンバー通知カード（紙製）
- ② 顔写真〔サイズ（縦4.5cm、横3.5cm）・正面・無背景・無帽〕
- ③ 本人確認書類※
- ④ 印鑑
- ⑤ 住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）

▼ マイナンバー通知カード（紙製）をなくされた方は、マイナンバーカード交付申請書を休日窓口でお渡しできますので、事前にご連絡ください。なお、通知カードは5月25日（月）をもって廃止となります。廃止後の氏名・住所変更等の手続きはできなくなりますのでご注意ください。

▼ マイナンバーカードを申請・受け取られる15歳未満の方は、法定代理人（父母等）の方も一緒に来庁ください。

問・予約：住民環境課 ☎ 43-9030



マイナンバーカードが受け取れます

夜間延長窓口

6月3日から
毎週水曜日
午後7時まで

場所：野田川庁舎
※事前予約制

【予約期限】
前の週の金曜日午後5時

≡ MADE IN YOSANO ≡

織物のまち

Vol.2

与謝野町では、織物事業者や地域の声を受け、地域経済や地域活性化の要である織物業やその関連業に対してさまざまな支援を行っています。今月号では、アンケート結果で明らかになった織物業における課題や、その解決に向けて実施する与謝野町の織物振興施策をお伝えします。

織物業の実態を把握するため、与謝野町では2～3年に一度、「織物実態統計調査」を実施しています。また、昨年度は織物振興施策に対する意見を把握するため、「織物振興対策事業に関するアンケート調査」を実施しました。いずれの調査結果においても、「設備導入や織機修理等への支援」を求める声が全体の約30%と最も多く、「後継者・人材育成への支援」が続きます。さらに、第二次総合計画の産業分野においては「知恵・技・経験を

織物業振興に必要と思われる 施策・支援 BEST3

- 01 設備導入
織機修理 30%
- 02 後継者・人材育成
事業承継 29%
- 03 商品開発
販路開拓 19%

出典：令和元年度織物振興対策事業に関するアンケート調査

次世代へ伝えるための人材育成」と「高度な織物技術の継承」が方針として掲げられています。これらを踏まえ、与謝野町では、設備投資と人材育成への支援を柱に、さまざまな施策を展開しています。

伝える

産地の認知拡大

産地交流

右記「ひらく織実行委員会」が実施する他産地や丹後産地内との交流の様子を発信する産地PR・交流サイト「ひらく織」を運営しています。これまでに、本サイトへの訪問をきっかけに移住者も生まれています。



ひらく織HP

育む

人財発掘と育成

後継者育成

織物事業者の後継者層や関係機関が参画する「ひらく織実行委員会」の運営を支援しています。事業者は全国の繊維産地に赴き次世代の担い手としての研さんを積むとともに、新商品開発にも取り組んでいます。



作る

生産設備の維持

設備投資支援

織物事業者が行う生産設備整備等の経費の一部を補助します。本年度は新たに小規模（3万円以上30万円未満）な整備も対象に加えました。申請受け付けは5月29日まで。詳細は商工振興課へお問い合わせください。



売る

新たな挑戦を喚起

新商品開発支援

自社または異業種間連携により取り組む年間1テーマの商品・製品開発に要する経費の一部を補助します。申請受け付けは12月28日まで。詳細は商工振興課へお問い合わせください。※本制度は織物業以外も活用できます。



産地体験

都市圏に居住する織物産地やものづくりに興味のある方を対象に、産地滞在プログラムを実施します。町内織物事業者の訪問や移住者との懇談、織物技能訓練センターでの製織体験を実施し、産地への興味を高めます。



織物職人養成

織物事業者の従業員や就職希望者を対象に、織物技能訓練センターにおいて職人養成プログラムを実施しています。技術指導員と専門家の指導による力織機と手機の2つのプログラムがあり、希望者はセンターまで。



修理・調整支援

商工会では、織機等の修理・調整を行う織物事業者に対し補助金を交付しており、与謝野町は本事業への財政的な支援を行っています。申請受け付けは令和3年2月末まで。詳細は商工会へお問い合わせください。



販路開拓支援

自社で企画・製造等をした商品・製品の国内・海外販路開拓に要する経費の一部を補助します。申請受け付けは12月28日まで。詳細は商工振興課へお問い合わせください。※本制度は織物業以外も活用できます。



【問い合わせ先】商工振興課 ☎ 43-9012 / 与謝野町商工会 ☎ 43-1020 / 織物技能訓練センター ☎ 42-2575



まちの魅力を発信する、観光・交流の拠点が誕生。

旧加悦町役場庁舎が開館しました

☎ 観光交流課 ☎ 43-9016

ちりめん街道の北端にたたずむ旧加悦町役場庁舎（京都府指定有形文化財）の保存活用改修工事が完了し、4月1日、人々の交流が生まれる観光・交流の場として新生「旧加悦町役場庁舎」が開館しました。

旧加悦町役場庁舎は、建築から約90年が経ち、1階床下部分の腐朽と蟻害が著しく、また耐震性能の課題から、平成14年以降は1階しか使えない状況となっていました。そのような中、地域住民の要望もあり、将来安心して建物全体を保存活用できるよう平成30年1月に「耐震改修検討委員会」を立ち上げ、修理・補強方法等につ



1階に休憩スペースを設けています



南北に真っすくのびる2階の廊下

新しくなった旧加悦町役場庁舎は、指定管理者制度により、海の京都DMO与謝野地域本部（与謝野町観光協会）が建物の維持管理等を行っています。

1階は、ちりめん街道を含む与謝野町の魅力を来訪者に発信する拠点として、観光案内所と来訪者がゆったり休憩できるスペースを

交流が生まれる拠点

いての検討を開始。同年6月末からは建物を閉館し、本格的な調査や実験を繰り返し行ってきました。そして、昨年の夏に工事を開始し、本年3月末に完了しました。

2階旧議場は、クリーム色の漆喰壁（大津壁）から格縁天井、建具など細部に至るまで、昭和4年の建築時のものに復元し、当時の雰囲気再現されました。

旧町長室は、腰板が張られ、天井の意匠にこだわり、框は他の部分より高級な部材が使用されています。

一見シンプルな建築物ですが、丹後大震災の直後、地域の復興と繁栄を願い、工夫を凝らし、細部までいいねいに造られたものであり、与謝野町の貴重な財産です。

町内外の人々の交流の場「旧加悦町役場庁舎」にぜひお立ち寄りください！

建設当時の雰囲気がいまも残る

2階旧議場は、クリーム色の漆喰壁（大津壁）から格縁天井、建具など細部に至るまで、昭和4年の建築時のものに復元し、当時の雰囲気が再現されました。

旧町長室は、腰板が張られ、天井の意匠にこだわり、框は他の部分より高級な部材が使用されています。

一見シンプルな建築物ですが、丹後大震災の直後、地域の復興と繁栄を願い、工夫を凝らし、細部までいいねいに造られたものであり、与謝野町の貴重な財産です。

町内外の人々の交流の場「旧加悦町役場庁舎」にぜひお立ち寄りください！



右／1階の観光案内所
左／2階旧議場



民生委員・児童委員は身近な相談相手です

民生児童委員の活動といえば、高齢者の皆さんのことが中心と思われるが、児童委員としての活動も行います。子どもたちの「身近な大人」となり、「子育て応援団」としての役割を担っています。具体的には登下校の見守り、学校・園との懇談、行事参加、子育てサロン、赤ちゃん訪問など多岐にわたっています。

現在、福祉に関する課題は山積し

民生児童委員だより

与謝野町民生児童委員協議会では、民生児童委員だよりをとおりて民生児童委員、主任児童委員の活動を紹介します。新しい体制で活動を始めた今回は、各支部長から民生児童委員活動の紹介をします。

民生児童委員の活動について

野田川支部長 阿路川 正和

昨年の12月に、全国一斉の民生児童委員の改選が行われました。与謝野町では67人の民生児童委員（主任児童委員6人含む）が選出されました。あらためてその活動についてお伝えします。

民生児童委員は、住民の皆さんの身近な相談相手として、また見守り役として活動します。主に一人暮らしの高齢者の方を家庭訪問します。その活動をとおして、困りごとなど課題があれば、役場や福祉に關係する機関につなぎます。あくまでつなぐであって、民生児童委員自ら解決するものではありません。そして必要に応じて、住民の皆さんの代弁者として、役場や関係機関に意見具申もします。

私たちは加悦支部は、旧加悦町10区の民生児童委員22人（主任児童委員2人を含む）で構成されています。委員は各々に担当地区を持ち、子どもたちやお年寄りなどの見守りと教育機関や社会福祉協議会などと協力し、歩調を合わせた取り組みをしています。また、困りごとのある方からの相談を受けたり、消防署や電気工事組合に協力するなどの地域活動が、民生児童委員の活動の基本となります。

さらに、0～3歳児までのお子さんとお母さんを対象とした「子育てふれあいサロン」は、講師の方を招き、親子一緒にいろいろな遊びをしながら、子どもとのふれあい方や発達の目安を学んだり、月齢・年齢ごとに子どもの様子や子育ての交流をしたり、お互いの情報の交換をした

加悦支部の活動について

加悦支部長 横谷 秀樹

私たちは加悦支部は、旧加悦町10区の民生児童委員22人（主任児童委員2人を含む）で構成されています。委員は各々に担当地区を持ち、子どもたちやお年寄りなどの見守りと教育機関や社会福祉協議会などと協力し、歩調を合わせた取り組みをしています。また、困りごとのある方からの相談を受けたり、消防署や電気工事組合に協力するなどの地域活動が、民生児童委員の活動の基本となります。

危機管理意識について

岩滝支部長 千賀 和樹

民生児童委員の活動を始めて4年目。お年寄りの見守りや幼児との触れ合い、小中学校生の登下校見守り活動などにも慣れてきたところです。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年の活動はほとんど休止状態となりました。

今後、感染がどこまで広がるのか、予断を許さない状況ですが、先が見えないときは危険なことや心配なことが現実になることを想定し、たとえそうであっても対応できる対策をしておくことがパニックを防ぐ有効な方法であり、危機管理の考え方の基本となるものです。また、このようなときには、「今、何ができるのか」を常に考え続けることが大切です。

民生児童委員の私にとっての大きなテーマの一つ目は、子どもたちに関しても、家庭内暴力、いじめ、不登校、引きこもり、さらにSNSの危険性等が大きな問題であること、二つ目は、大人について、育児に自信を無くした若いお母さんのうつ病や、家族を支える力を失ったお父さんの孤独感等も無視できない社会問題になっていること、三つ目は、高齢化社会で避けられない認知症問題と介護問題です。

どれをとっても大きな問題であるため、民生児童委員として安易に取り組めないものばかりですが、この機会に民生児童委員として研修を深め、新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いたころには、充実した活動ができるように備えておきたいと考えています。

6月1日（月）は
自動車税（種別割）
の納期限です

お近くの銀行、信用金庫、郵便局等の金融機関やコンビニ、府の納税窓口で納期限までに忘れずに納付してください。
京都府丹後広域振興局
企画総務部 税務室
☎ 0772 - 62 - 4303

与謝野町役場

☎ 43-9000（代表）

総務課

☎ 43-9010

防災安全課

☎ 43-9011

商工振興課

☎ 43-9012

会計室

☎ 43-9013

建設課

☎ 43-9014

企画財政課

☎ 43-9015

観光交流課

☎ 43-9016

加悦庁舎

☎ 43-9001（代表）

税務課

☎ 43-9020

福祉課

☎ 43-9021

保健課

☎ 43-9022

農林課

☎ 43-9023

子育て応援課

☎ 43-9024

教育委員会 学校教育課

☎ 43-9025

教育委員会 社会教育課

☎ 43-9026

議会事務局

☎ 43-9027

CATV センター

☎ 43-9028

野田川庁舎

☎ 43-9002（代表）

住民環境課

☎ 43-9030

上下水道課

☎ 43-9031

地域おこし協力隊通信 ④5

魅力化コーディネーター 長谷川隊員

☎ 43-9026

社会教育課

加悦谷高等学校と宮津天橋高等学校加悦谷学舎の高校魅力化コーディネーター（以下、「コーディネーター」として活動している地域おこし協力隊の長谷川です。

さて、この4月でコーディネーターに就任して丸1年が経ちました。今回はこの1年をとおした想いをつづつてみます。

一言で表現するならば、2019年は「信頼を積み重ねる年」でした。静と動で表現するならば「静」の年。コーディネーターの導入は学校にとっても、与謝野町にとっても、私にとっても、『初めて』の取り組み。また、京都府としても初めての取り組みだったため、考えることができる学校が近隣に

ありませんでした。さらに、コーディネーターは学校の職員ではありません。そのため、学校としても、何に、どこまで関わってもらえればいいのか？ という状況でした。そんな不透明点だらけの中、コーディネーターの導入にゴーサインを出していただいた学校には、あらためて感謝しありません。

一方の私はというと、初の教育現場。1年がどのような流れで進んでいくのか、高校生たちは何に興味があるのか、どんなリアクションをするのかを知る1年であり、自分が関わることでできる場所はどこかを探る日々でした。

そんな手探りな状況で

も、1年生の丹後ちりめんのフィールドワークの企画や、キャリア教育講演会に登壇させていだいたり、大きなイベントを任せていただくこともありました。

大小関わらずできることを行い、先生方との関係を築いた1年であり、それが実を結び、今年度は、さらに新しい取り組みをさせてもらえそうです。「スタートラインに立った」今年度。今年はまた違った報告をいろいろとさせていただきます。

最後に、この1年は、地域に出かけることが多く、そのおかげで顔見知りの方も随分と増えました。今年もさらにたくさん縁を作っていきたいと思います。お見かけの際はぜひお声がけください。今年もどうぞよろしく願っています。



昨年度開催した「探求ゼミ」のヒトコマ

新しい加悦小学校が開校。地域の希望に。

新生「加悦小学校」が開校しました

☎ 43-9025

学校教育課

新たな加悦小学校の開校式を4月6日に執り行いました。本校は、いずれも140年以上の歴史を誇った桑飼小学校、与謝小学校、加悦小学校の3校の伝統を受け継ぎ、全児童260人でスタートしました。

少子化による児童数減少や児童の男女比の極端な偏りなどの問題を踏まえ、町教育委員会では、平成30年11月、各区、各PTA代表者および各学校長等で組織する「加悦地域学校づくり準備協議会」を発足。学校名や校章、校歌の決定のほか、スクールバスの運行、通学路の安全対策、PTA運営、教育課程、再編前からの児童の交流など、新しい学校運営に必要なことを協



新しい校歌を歌う児童たち

議されました。そして、3月25日の協議会においてすべての調整項目の協議が整い、開校を迎えることができました。

開校式では、山添町長の式辞に続き、桜を基調に大江山に太陽が昇る情景をイメージした校章を刺繍した校旗が、塩見教育長から堀校長へと授与されました。その後、児童を代表し児童会副会長の長野光希くんが、「地域の希望となるように全校児童一丸となって頑張ります」と誓いの言葉を述べました。

そして、校章をデザインいただいた小倉知子さん、校歌を作詞いただいた天野逸風子さん、校歌を作曲いただいた後藤昌典さんへの感謝状贈呈に続き、児童たちにより校歌が披露されました。

株式会社丹後乳販様 から 明治プロビオヨーグルト R-1 を寄贈いただきました

株式会社丹後乳販様から、町立幼稚園・認定こども園・保育所（園）（以下、「保育園等」）の先生に対して、「明治プロビオヨーグルト R-1 ドリンクタイプ」（1,748本、24万4,720円相当）を寄贈いただきました。丹後乳販様には普段から保育園等の給食用牛乳を納品いただき、園児と先生の健康増進にお力添えをいただいています。今回は、新型コロナウイルス感染症への対策応援として、保育園等の先生に免疫力を高める本製品を寄贈いただきました。職員一同、自身の健康に留意し、あらためて新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、引き続き園児の保育・教育に努めたいと思います。ご寄贈いただき誠にありがとうございます。

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
3/23	大呂谷日吉ヶ丘線道路新設(その2) 工事	明石地内	5 者	山城建設株式会社	38,053	33,662	33,662	88.46	R2/3/31 ～ 9/30

町内に配布している
広報誌には掲載しています

お悔やみ
(敬称略)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

おめでとう
ございます
(敬称略)

まちのうごき

令和2年3月末現在

人口 21,219 人 (－117)
男 10,152 人 (－58)
女 11,067 人 (－59)
世帯数 9,043 戸 (－6)

※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、3月16日から4月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

19

広報よさの MAY 2020

18

新規採用職員を 紹介します！

新規採用職員として入庁した7人
(1月1日付1人、4月1日付6人)
の決意と抱負を紹介します。



石川保育所

はがわ ゆりか
羽川 友梨香

石川保育所に配属になりました羽川です。子どもたちと過ごす一瞬一瞬を大切に、一緒に笑ったり喜んだりしながら、笑顔いっぱいの毎日していきたいと思っています。子どもたちとたくさんのかかわりにチャレンジし、自分自身も成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



福祉課

まきの しおり
牧之瀬 志織

福祉課に配属になりました牧之瀬です。初めての仕事ですが、町民の方々からお話をお伺いし、住み慣れた町で自分らしく生活できるよう寄り添いたいと思います。また、日々勉強しながら自分自身の成長にも繋がってきたいと思っています。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

かえでこども園に配属になりました大原です。学ぶ姿勢を忘れずに、子どもたちと元気いっぱいの毎日を過ごしていきたいと思っています。また、7年ぶりに生まれ育った与謝野町に帰ってきたので、あらためて地元の魅力を見つけていきたいと思っています！ よろしくお願ひいたします。



かえでこども園

おおはら かおり
大原 香織

保健課に配属になりました間苧谷です。大学進学のため与謝野町を離れていましたが、ふるさとの与謝野町で働くことができ喜びを感じています。地域の皆さまのお役に立てるよう、関わる業務一つ一つを大切に、責任をもって取り組みたいと思います。よろしくお願いします。



保健課

まおたに ゆか
間苧谷 友佳



子育て応援課

やまぞえ ゆうな
山添 侑那

子育て応援課に配属になりました山添です。府北部の出身なので、与謝野町で働けることを光栄に思います。いち早く住民の方々のか力になれるよう日々精進していきたいと思っています。また、与謝野町についてたくさんのかことを知ってきたいと思っています。よろしくお願いします。



住民環境課

おばせ ゆり
小長谷 柚里

住民環境課に配属になりました小長谷です。与謝野町で生まれ育ったので、この町で働けることをうれしく思います。日々学ぶことはたくさんありますが、1日でも早く業務に慣れ、先輩方に頼るばかりではなく、頼られる側になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



福祉課

ほんだ なつこ
本田 奈都子

福祉課（地域包括支援センター）に配属になりました本田です。前職ではケアマネジャーとしてご利用者やご家族に寄り添いながら介護の仕事をしていました。地域の方々と連携を図りながら少しでも町の発展に役立てるように精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

